

亜木津新聞

もういっくう履くとお正月♪

「年をとると一年が早い」と言います。私自身最近年末と正月だけで間がないように。え？まだ正月にもならないのに。おめでたいって。。。てなわけで、今回は正月にちなんで「お餅」について少しばかり。もち米はどこからやってきた？



1万4千年前、温暖化により水没した幻の大陸「スンダランド」

氷河時代、現在のタイからインドネシア地域の「スンダランド」(濃い青色「帯」)という平野で米が生産されていた。スンダランドの水没に伴い、メコン川中流のラオスやタイ北部で稲作を始めた。これが日本の米のルーツと言われている。
参考：忙しいほうがいい。でも本当はのサイトより



古代米(赤米)

古代米は縄文時代日本に伝来。大変貴重で、特別な日だけ食べたので、赤飯のルーツとなった。
参考：匠本舗「おせち早割り」のサイト

お餅の王様、鏡餅



鏡餅は三種の神器の「つ」銅鏡を表し、正月に年神が宿る「神体」。二段は、陰陽(月太陽)で「福が重なる」めでたく年を重ねる「の意」。

お正月の行事と由来

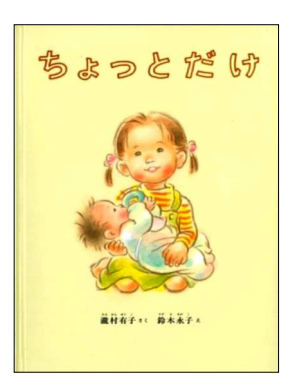
おせち：年神様をお迎えする目印。
おとそ：不老長寿を願う薬酒。
鏡餅：年神様を宿す神聖な餅。
雑煮：年神様に供えた餅を頂く。
お年玉：家長が年神様の魂(たましい)餅を家族に分け与える。
参考：All About 暮らしのサイト

「おまけ」お餅を含む「ことわざ」意見と餅はつくほど練れる。意見は話し合うほど、よくなる。魚は殿様に焼かせよ餅は乞食に焼かせよ。適不適を見て、適任者を選び。ついた餅より心持ち。もらった物より心遣いが嬉しい。隣の餅も食ってみよ。何事も経験しないとわからない。餅は餅屋。何事も専門家にはかなわない。喜んで尻餅をつく。成功して調子に乗ると失敗する。
参考：故事ことわざ辞典オンライン



大人のための絵本

インターネットが普及し、簡単に情報が得られるようになったこともあり、出版業界は大変厳しいにも関わらず、絵本は相変わらず伸びているそうです。一般的には数年〜数十年読み継がれ、じわじわとミリオンセラーになるそうです。松谷みよ子作、瀬川康男絵「いないいないばあ」累計622万部、中川李枝子作、山脇百合子絵「ぐりとぐら」495万部、エリック・カール作、森比左志・訳「はらぺこあおむし」389万部など今も売れ続けています。最近「大人のための絵本」というジャンルがブームを牽引しているようです。マスキムに取り上げられて短期間に10万部を越える売上の絵本もあるそうです。



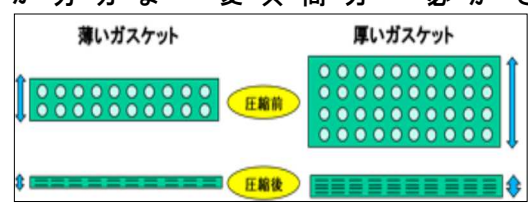
また、出版社や団体の「絵本大賞」がブームの火付け役となっています。歴史もあり絵本作家の登竜門となっている賞の一つ「ようちえん絵本大賞」は今年で8回目になります。第2回大賞と第3回理事長賞と唯一「二年連続受賞したのが、瀧村有子作、鈴木永子絵の「ちよっとだけ」という絵本です。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、親として忘れてはいけない内容だと思えます。推薦する方々のコメントから、タイトル通り

「ちよっとだけ」紹介します。

「なっちゃんのおうちに あかちゃん がやってきました。お姉さんになったからと頑張るなっちゃんですが、眠くなった時だけはどうしてもお姉さんに甘えたくありません。『ちよっとだけ』いいからだっ」とお願いでみると…。絵がほのぼのとしてホッとすると、やさしい気持ちにさせてくれる絵本です。最後のところでは涙がでてきました。とお姉さんになつて我慢しているお姉さんに「ちよっとだけ」でいいからだっ」と言われたら、貴方なら何て答えますか。どんな声を掛けてあげますか？
(出典)「Media」三井住友銀行の絵本一覧「私立幼稚園.com」「neverまとめほか

【フジモンのガasket講座】⑥面圧保持力について

ジョイントシートはスポンジのように多孔質構造であり、面圧をかけて圧縮する必要がある。装着後は復元力が低下し、時間が経過と共にガasketに永久変形が起るため、面圧が低下します。図のようにガasketは薄い方が厚みの減少が小さく、面圧が保持されます。薄いガasketを使用し、初期面圧を高くすれば、ガasketの製品寿命は延びますが、フランジの状態を考慮に入れながら厚みを決定してください。
参考：クリンガー技術資料



【読者よりのお便り】

毎回来しい新聞をありがとうございます。今回の発行と特許取得年は大変おもしろかった。特に、巻き尺(1868年)とはびっくりです。1915年のモンキーレンチ、1931年のスプレー缶、1950年の電子レンジがかなりの昔のものとは驚きでした。
T.S様

「この度、一身上の都合により、12月末をもって退職することになりましたので、配信の停止をお願いいたします。長い間亜木津新聞を配信していただいていたことに感謝いたします。毎日50件ほどのメール戦争の中で、新聞が心の癒しになりました。疲れた時のカンフル剤にもなり、毎回来しみにして、雑学の話題にもさせていただいたことでもあります。営業的には御社に寄与できませんでしたが、これからも頑張つて是非継続されること、そして益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
H.T様

T.S様、A.S様、H.T様暖かい励ましのお言葉ありがとうございます。紙面に対するご批判、ご希望は可能な限り、反映させていただきます。忌憚ないご意見をお待ちしています。
編集者



ピカデリー加藤 今月の AKTシネマ

「リトルショップ オフ ホラーズ」1986年 アメリカ 94分
監督 フランク・オズ
音楽 デランメンケン
出演 リック・モラニス
エレン・グリーン
ステイプ・マーティン
スラム街のさびれた花屋に勤めるシーモア・クルルボーンは、店主のムシユクさんに怒られるが、冴えない毎日をおくっていた。そんなある日、不思議な植物を拾ったことで人生が一変する。

舞台上でヒットしたミュージカルを映画化。宇宙から飛来した巨大植物が主役のおバカなホラー・コメディミュージカル。後にディズニーに引き抜かれるアラン・メンケンが音楽を担当しているの、とにかく歌のシーンが最高で、何回見ても楽しいです。サドの歯医者者のキャラとコーラス隊の歌がお気に入りです。
ピカデリー加藤

